

研修会・講習会

平成 27 年度「技術と審判の交流」参加報告

----- 「技術と審判の交流」に参加して」 サッカー3級審判員：岡田 将太 -----

私は3月5日に兵庫県サッカー協会会議室、磯上公園グラウンドで行われた「技術と審判の交流」の研修会に参加させていただきました。

今回の研修会では、技術委員会の方から梅崎さんと鈴木さんに来ていただき、実技と講義を受けました。

まず、実技ではU-14のナショナルトレセンのトレーニングメニューの一部を、参加者全員で行いました。ゴール前でのシュートのトレーニングに始まり、3対3などを行った後、最後にはハーフコートでの試合をしました。

私はこの実技から、改めてサッカーの楽しさを感じることができたと同時に、審判だけをしていては分からないプレーの難しさも実感することができました。

講義では、梅崎さんからJFAのC級コーチ養成講習会での審判のお話しをしていただきました。サッカーをより魅力あるものにしていくためには、技術と審判がそれぞれ同じ方向を向き、対話することが大事であると強くおっしゃってられました。

私は審判活動を今までしてきた中でこのようなことを意識したことがなかったため、これからの審判活動に生かしていくことで必ず自分にとってプラスになると思いました。

また、兵庫県の取り組みとして行っているガバナーカップについてのお話しも梅崎さんからいただきました。ガバナーカップのいいシーンを集めた映像を見た際には、いつもは審判がどういった動き、判定をしているのかに注目していましたが、技術の方に注目してみると選手の体の向きやスペースの使い方など、いつもと違った視点から見ることができました。

今回の研修会に参加したことで、普段は考えないような、指導者といった立場から審判について考えることができました。

この研修会で学んだことをこれからの審判活動で生かして生きたと思います。

最後になりましたが、このような研修会に参加させていただきありがとうございました。



指導者視点でフェリングを考えられるようになった岡田審判員

実技風景



----- 「技術と審判の交流」に参加して」 サッカー3級審判員：指吸 修治 -----

私はこの度3月5日に兵庫県サッカー協会大会議室で行われた研修会“技術と審判の交流”に参加させていただきました。

私自身審判活動をさせていただき始めてまだ間もないのですが、この研修会では17名の参加者の方々と指導者の方の貴重なお話をお聞き出来ました。

研修会ではまず実技があり、実際にサッカーをプレーしました。実技でのテーマは“ゴール前の攻防”でした。やはりサッカーの最大の魅力は得点だと思います。どのカテゴリーのゲームを見ている、得点シーンでは選手はもちろん見る方々をも喜び感動を与える、素晴らしいプレーだと思います。実技を行っているうちに、普段レフェリーをしているだけでは気づくことが出来ない競技者としての気づきもありましたが、それに並んでレフェリーとしての気づきもありました。最近レフェリー目線でゲームを見ていたのですが選手目線でプレーを見ていると次プレーをしたいポジションに移動、レフェリーとしたら選手の動きを見て次のプレーに遅れないようによりよいポジションに動く。私自身の課題でもある部分をあらゆる角度から再認識できた実技指導でした。

次に講義では、兵庫県の取り組みとして行われている“Governor Cup Hyogo Youth Soccer”についての講義もありました。講義内で昨年の映像を見ていて感じたのが、得点シーンの場面ではレフェリーはペナルティーエリア内もしくはその付近までプレーに近づき、選手に対して『レフェリーは見ているな』と思われるような位置にポジションしており、言葉の通じない海外チームの選手に対しても説得力があると思いました。

◇同大会の総括として挙げられていたのが、

- ・全チームに上位のチャンスがあり、拮抗したゲーム（全試合1点差）が展開された。
- ・ゴールへ向かうプレーに特徴が見られた。
- ・一方、ボールプレッシャーは弱かった。

以上の3点が挙げられており、単調な攻撃ばかりではなくプレーに特徴があったと総括されていたように、レフェリーの順応性も同大会では大切だなと感じ、映像を見ているだけでもとても勉強になりました。また、兵庫県選抜の評価と成果、課題が挙げられており、

◇成果としては、

- ・ボールを奪うってからの良い攻撃
- ・ゴールへ向かう
- ・全試合で得点を奪う

◇課題としては

- ・ボールプレッシャーの継続
- ・裏のスペースのリスク管理

以上の5点が評価として挙げられておりました。私自身審判をさせていただく中で、選手の良いところを伸ばし、苦手なところをいかに克服できるかの手助けをできるレフェリングをしていけるように、今回の研修会で学んだことをゲームで還元できるように今後の活動に生かしていきたいです。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



(上) 指吸審判員 (下) 講義風景

